

昭和六十二年度

各郡部△云からの 専 業 報 告

一部会

○理科主任会 六月十日

会場 井野中学校

部会の理科主任の先生方に集まって頂き、六十二年度の部会としての各種の取り組みについて、話し合せて頂いた。

また、各校の教科経営としての理科への取り組みについて、互いにプリントの交換により情報交換の場としても活用してみた。

○夏季実技研修会 八月五日

会場 井野中学校

小学校は写真の現像及び引き伸ばし技術の習得、中学校はシダ胞子の発芽とその培養、土壌内の微小動物の教材化とそれぞれのねらいのもとに実施。

○理科作品展 九月二十二日

会場 西志津小学校

部会小中学校から多数の出品があり、選考する方も苦労した作品展であった。郡展へは総計六十五点出品した。うち県展へは八点出品し、入賞は二点であった。

○研究員集会 随時

小中学校それぞれ二十名くらいの研究員の参加により、年間を通して研究活動を行なった。

二部会

成田西中学校を会場に実施した。

富里中学校の阿波寄先生の指導で「磁界の中で電流が受ける力」の教具を作成した。この研修は三部会との合同事業であり、多数の先生方が参加された。

二、小学校理科指導者研修会

七月三十、三十一日に久住第一小学校を会場に行なわれた。成田市教委との合同事業であり、こちらにも多数の先生方が参加された。各学年単位で行なわれた内容は次のような単元であった。

三部会

三部会における昭和六十二年度の事業の報告をします。

四月二十四日

部会研究部総会(大森小)

五月 三十日

研究員集会(白井中)

六月 十六日

中学校実技研修会(西中)

「磁界の中で電流が受ける力を説明する教具」の製作。

六月二十三日

小学校実技研修会(白井一小)

「動くおもちゃ、薬品・器具の安全な扱い方」について

七月 四日

研究員集会(白井中)

八月 四日

研究員集会(白井中)

八月 七日

野外研修会(銚子市)

「銚子半島の地層めぐり」

九月 十一日

理科作品展(印西中)

作品総数 三百九十七点

四部会

現場にて行なった。アンモナイトの歯等を探集するなど収穫の多い一日であった。

四月二十八日に四部会総会が開

催され、年間の行事計画、役員選出を行ないました。登録人数は、そのうち郡展に工作二〇点、論文三〇点、標本一五点を出品し、県展へ工作四点、論文三点が出品され、高い評価を得ることができた。テーマ、研究の方向と計画について、七月七日の理科主任会議で夏休みの実技研修会、理科作品展について話し合いを持ちました。

七月二十四日に理科実技研修会

を行ないました。八街町教委との

共催の形をとり、基礎講座、セン

ター講習の伝達という内容で実施

しました。

部会の理科作品展を九月十八日

に実住小学校で行ないました。工

夫作品十五点、論文二十点、標本

十五点の出品がありました。

その後は、十月十三日の印教研

究部会集に向けて、小・中学校

単位で研究員集会を持ち、研究の

とりまとめに取り組んでいきまし

た。

五部会

本年度の研究主題は、「考える

態度を育てる理科学習はどうある

べきか」である。小学校低学年で

は、生活科移行にも対応できるよ

うに直接経験の重要性を指摘し、

実態調査、施設調査、季刊「季節

だより」の発行を本年度の柱とし

た。また、小学校高学年では、従

来、問題が多いとされてきた「水

溶液の濃さと重さ」を重点に取り

上げ、授業研究会を十月三日に四

街道小に於いて試みたが、問題の

深さが一層示された形にとどまっ

ている。一方、中学校部会では、

もっぱら「態度の評価」をどうす

るのか、が話の中心であった。い

くつかの評価方法を検討し、試行

力によって行なった。

実践報告

自らをきりひらく力を育てる理科指導の創造

佐倉市立小竹小学校 門 脇 興 次

本校は、過去、社会科を中心

研究を進めてきたが、今年度から

二年間の予定で印教連指定の理科

研究学校として、表題にあるよう

に「自らをきりひらく力を育てる

理科指導の創造」を目指し、研究

を続けている。

研究の手順として、

①子どもの実態をつかむ

・ 診断テスト・教師の観察

②指導要領の目標と内容について

の再認識

・ 各学年、領域ごとに

・ 単元間の系統

③教師側の課題をつかむ

・ アンケート調査

④副主題のしぼりこみ

・ 低、中、高学年別

⑤理論研究を進める

・ 指導過程 ・ 指導案の書き方

・ 診断評価の仕方・仮説の設定

・ 年間計画の手直し

⑥授業研究の充実

⑦理科的環境の整備

一学期は、主として理論研究が

中心であったが、各方面からの講

師の助言と指導を受けた。また、

夏休み中には先進校を視察し、セ

ンターへの研修にも積極的に参加

し研修に励んできた。

二学期からは、本格的に授業研

究に取り組んできた。指導主事、

運営委員の先生方の協力により少

しづつではあるが、主題に迫りつ